

CASBEE® 広島

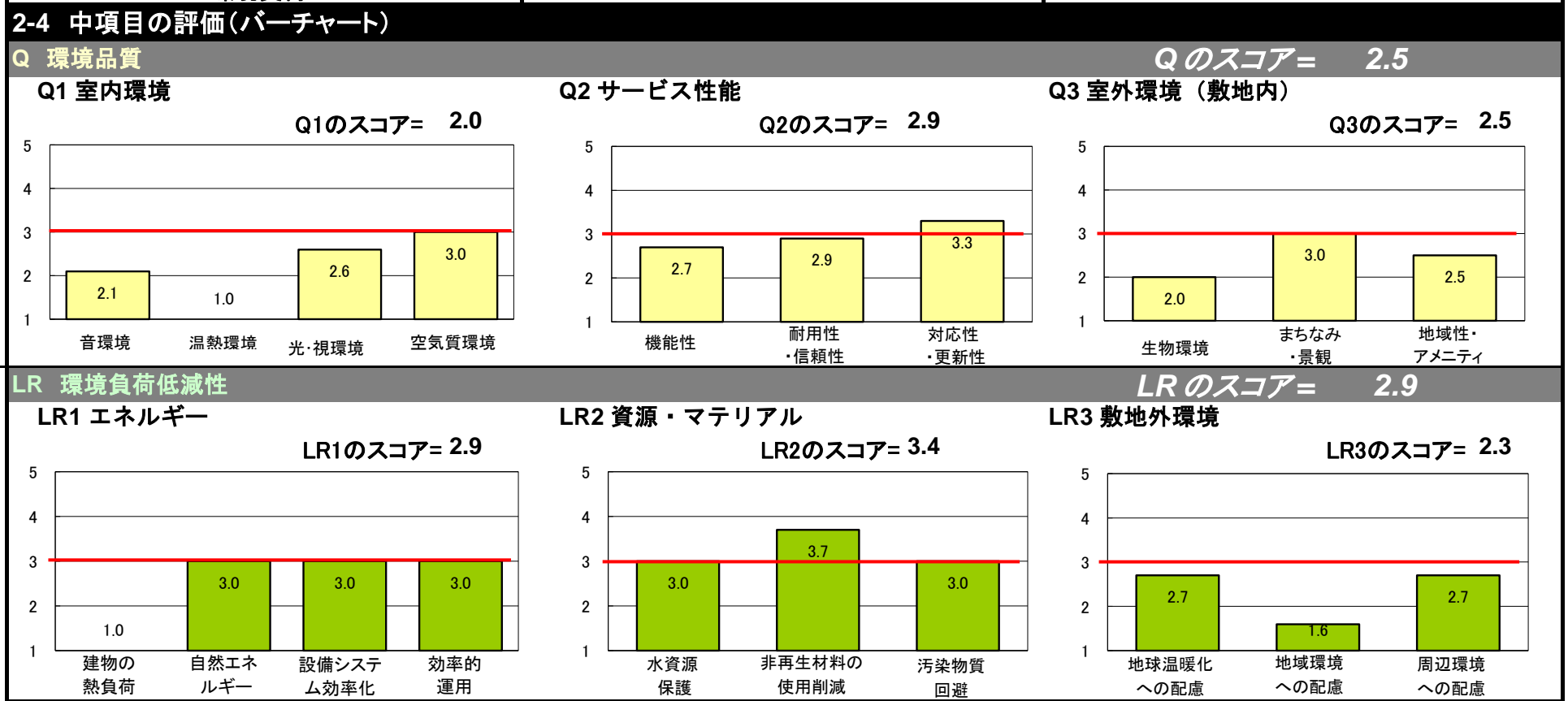
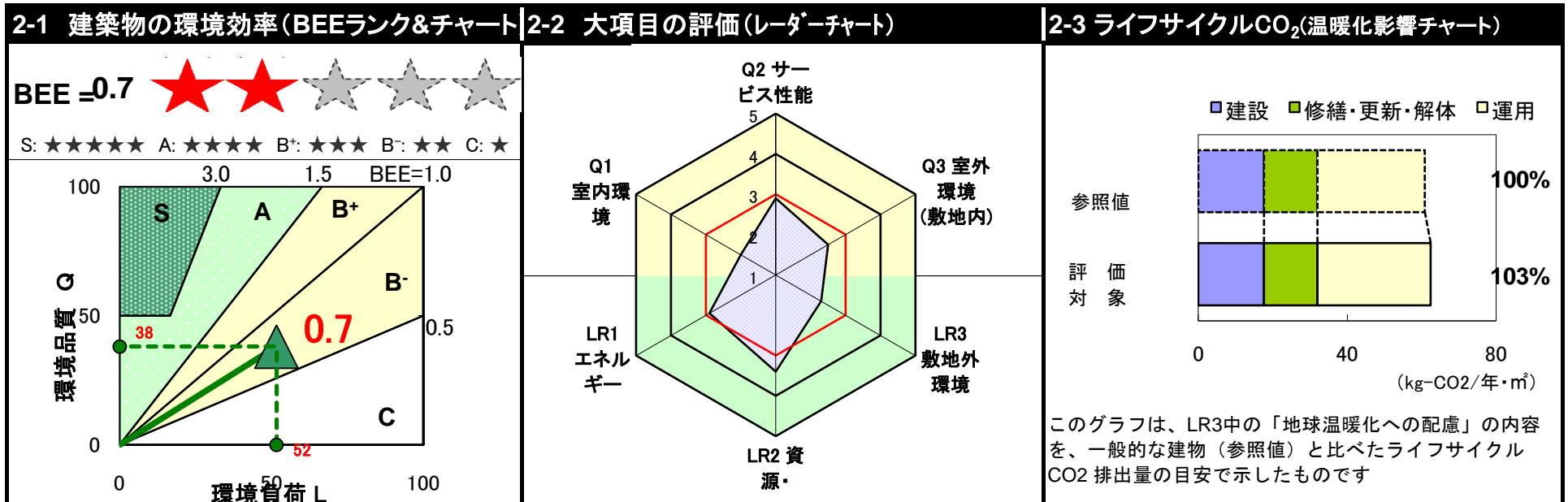
(2010年ver. 1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | ボール工場・研究所棟 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 広島市安佐北区安佐町大字久地字高月1番地 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 都市計画区域外、防火地域指定なし | 平均居住人員 | 30人 |
| 気候区分 | 地域区分IV | 年間使用時間 | 2,640時間/年 |
| 建物用途 | 事務所、工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2013年12月 予定 | 評価の実施日 | 2013年2月18日 |
| 敷地面積 | 19,352 m ² | 作成者 | 塚田・向井 |
| 建築面積 | 1,397 m ² | 確認日 | 2013年2月26日 |
| 延床面積 | 2,771 m ² | 確認者 | 木野本 |



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.8

| 「地球温暖化対策」の推進 | 「ヒートアイランド対策」の推進 | 「長寿命化対策」の推進 |
|--|-------------------------------|---|
| スコア = 3.1 | スコア = 2.0 | スコア = 3.1 |
| <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>敷地西側法面の既存植栽を生かし、敷地周囲と建物周囲に出来るだけ芝貼りをする事で、敷地面積の25%以上の緑地を確保した。</p> | <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> | <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>外壁に耐久性の高い材料であるALC(t=100)・屋根にガルバリウム鋼板を採用し、平面・階高にゆとりをもたせることでフレキシビリティを高め、建物を長く使える事を狙った。</p> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される